

計画の名称	日高市公共下水道整備計画												
計画の期間	令和02年度 ~ 令和06年度 (5年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	日高市												
計画の目標	<p>女影地区は平成11年に公共下水全体計画区域及び事業認可区域として編入したが、市街化調整区域であることもあり、市街化区域の整備を優先した結果として未整備のまま現在に至っている。</p> <p>また旭ヶ丘地区は平成6年に公共下水全体計画区域に編入し、令和2年度に民間による土地区画整理事業に併せて事業認可区域として編入する予定である。</p> <p>本計画において、これら2地区についての下水道整備を行うことで、衛生的で快適な生活環境を確保する。</p> <p>日高公共下水道の終末処理場である日高市浄化センターは、供用開始から30年経過し、いままで大規模な改築修繕を行っていないことから、設備の老朽化が進んでいる。このため、平成30年度に策定した日高市下水道ストックマネジメント計画に基づき、計画的かつ効率的に改築修繕を行うことで、安定的な汚水処理を目指す。</p>												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	1,322	A	1,322	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 R2	中間目標値 R4	最終目標値 R6
1	女影地区の下水道整備済面積を12.2haに増加させる。 整備済面積 / 目標整備済面積	0%	40%	100%
2	改築・更新済設備件数を0件(R2)から115件(R6)にする。 改築・更新済設備件数 / 目標改築・更新済設備件数	0%	32%	100%
3	旭ヶ丘地区の下水道整備済面積を35.15haに増加させる。 整備済面積 / 目標整備済面積	0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R02	R03	R04	R05	R06				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
下水道事業	A07-001	下水道	一般	日高市	直接	日高市	管渠(汚水)	新設	女影地区下水道管渠整備事業	管渠整備(L=1.4km)	日高市						260		-	
	A07-002	下水道	一般	日高市	直接	日高市	終末処理場	改築	日高市浄化センターストックマネジメント事業	処理場設備改築・更新	日高市						841		策定済	
	ストックマネジメント事業																			
下水道事業	A07-003	下水道	一般	日高市	直接	日高市	管渠(汚水)	新設	旭ヶ丘地区下水道管渠整備事業	管渠整備(L=1.0km)	日高市						221		-	
												小計						1,322		
												合計							1,322	

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R02				
配分額 (a)	80				
計画別流用増 減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	80				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	37				
翌年度繰越額 (f)	43				
うち未契約繰越額(g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					